

- 中西悟堂 1979 後立山連峰縦走。定本野鳥記 6 : 63-133.
 日本野鳥の会 1980 鳥類繁殖地図調査1978. (財) 日本野鳥の会.
 高田勝・黒沢信道・三浦二郎 1981 根室地方の野鳥. 根室自然教育研究会.
 湯浅大多郎 1953 福島県の鳥. 日本野鳥の会郡山支部.

A FAMILY OF SISKINS *Carduelis spinus*
 OBSERVED IN NOTO PENINSULA

HIDEO MIMA¹, KOSEI TOKIKUNI² AND TAKAAKI KUNIMORI³

The siskin *Carduelis spinus* is a common winter visitor in Japan. A small population breeds in Hokkaido but there are very few breeding records in Honshu. In August 1985, We found two siskin adults (male and female) and several juveniles on the margin of a garden woods in Yanagida-mura, Noto Peninsula. The juveniles had pale grayish brown feathers and short tails. They flew after the adults but could not fly very far. Apparently they were a family and had bred near the observed area.

1. 4-11-42 wakunami, Kanazawa 920.
2. 62 mabu Otsu Tatsuruhama-machi, Kashima-gun 929-21.
3. village office, Yanagida-mura, Fugeshi-gun 928-03.

1985年10月8日受理

1. 〒920 金沢市涌波 4-11-42. (石川支部)
2. 〒929-21 鹿島郡田鶴浜町大津マ部62. (石川支部)
3. 〒928-03 鳳至郡柳田村 商工観光課.

宇部市におけるホオジロハクセキレイ
*Motacilla alba leucopsis*の繁殖

村田省吾¹・原田量介²

1983年7月と1984年6月に山口県宇部市川上男山(33°59'N, 131°16'E)でホオジロハクセキレイ *Motacilla alba leucopsis*の個体を観察したが、営巣個所は確認できなかった。その後、1985年5月1日、同地点で、営巣場所を確認したので報告する。

営巣環境は広大な真砂土の採取地で、採土の際に出た花崗岩(直径約30cm)が、その採取地の一角に山積されているその隙間であり、巣は地表より岩石の間、約50cm下であった。その周辺に営巣するキセキレイ *M. cinerea*、セグロセキレイ *M. grandis*の営巣位置は、切土あとの小さな岩棚、軒先や瓦の間隙などで、比較的浅く目につき易い位置にあるが、これらとはかなり異なった個所であり、巣材はキセキレイに見られる獣毛、こけ類の多量使用

による一見巣全体が華麗とみられものとは異なり、樹根などが多く使用され、荒々しく「雑な」感触のものであった。雄は白と黒の明瞭な夏羽で雌は耳羽の下に薄茶色の部分があった。ヒナは5羽確認したが1羽は未熟、結局4羽が5月11日午前中に巣立した（原田確認）。

給餌のほとんどは、ヤガ科の成虫、ケラ科の幼虫、マダラガガンボの成虫であった。観察中、他の雄が2回その営巣地に飛来した。また同地点より約4 km北方の採土地でも別の雄を確認したので、周辺にはまだ少数の個体が生息していると思われる。

山口県内でのホオジロハクセキレイの観察記録は、角島（白石・蓮尾 1966）、見島（北九州野鳥の会 1977、日本野鳥の会山口県支部 1980）、山口市内・光市島田川河口（日本野鳥の会山口県支部 1976）などで得られている。しかし、巣が発見されたのは今回が初めてである。

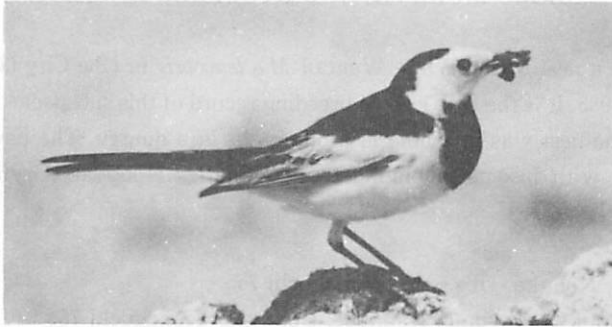


図1. ホオジロハクセキレイのオス。
Fig. 1. Male of *M. a. leucopsis*.



図2. ホオジロハクセキレイのメス。
Fig. 2. Female of *m. a. leucopsis*.

文 献

- 北九州野鳥の会 1977 見島鳥類調査報告書. 24pp.
 日本野鳥の会山口県支部 1976 山口県の野鳥. 229pp.
 1980 山口県萩市見島の鳥類相 (第1次調査報告). 28pp.
 白石乃爾・蓮尾嘉彪 1966 角島の鳥類. 山口県の自然Vol. 2 (5): 19-25. 山口県立博物館.

BREEDING RECORD OF THE WHITE WAGTAIL *MOTACILLA ALBA LEUCOPSIS*

IN UBE CITY

SHOGO MURATA¹ AND RYOUSUKE HARADA²

We found a nest of the White Wagtail *M.a.leucopsis* in Ube City (33° 59N, 131° 16E) on May 1985. It is the first known breeding record of this subspecies in Yamaguchi Prefecture. The nest was in a hole in a pile rocks in a quarry. The parents fed their young mainly with insects belonging to the families Noctidae, Gryllotaltidae and Tipulidae.

1. 1-3-8, Nonaka, Ube-shi, Yamaguchi 755
2. Kawakami Otokoyama, Kamiube, Ube-shi, Yamaguchi 755

1985年9月18日受理

1. 〒755字部市野中1-3-8. (山口県支部)
2. 〒755字部市上宇部川上男山. (山口県支部)

コミミズク *Asio flammeus* の鳴き声について石川勉¹

コミミズクの鳴き声の調査を行なった京葉港埋立地は、千葉県習志野市の海岸部に位置し、1972年に干潟の埋立てが始まり1974年に完了している。北側は習志野市街、南側は東京湾奥部、東側は幕張埋立地、西側は海老川にそれぞれ接していて、面積は705haである。埋立地にはヨシ、チガヤ、アカザ等の草木が繁茂し、裸地も点在している。現在では、工場、住宅、学校等が次々と建設され道路が整備されるのともなう、野鳥の生息環境は悪化の一途をたどっている。

1976年以降、この埋立て地でコミミズクが毎年越冬するようになった。筆者は1980年1月から1985年3月まで夜間にコミミズクの観察を行ない、その鳴き声を記録した。ここに若干の知見を得たので報告する。なお、調査日数は全部で81日であり、そのうち鳴き声を聞いたのは55日であり一部をすでに発表した(石川 1982)。